

## 2013年春闘に向けた賃金・諸要求アンケート結果報告 その1

### 2013年 新しい年を迎えて

2013年 1月 原研労組 中央執行委員会

新しい年を迎えました。皆さんは、どのように感じているでしょうか。

私たちを取り巻く状況は、年々厳しさを増しています。とりわけ、歴代の政権が繰り返してきた国家公務員バッシングは、私たちにも押し付けられており、処遇や働く環境の低下を招いています。復興財源を生み出すためという名目で、国家公務員に対して平均7.8%の賃金削減が昨年4月から2年間の予定で一方向的に押し付けられました。国は原子力機構をはじめとする独立行政法人にもこれを強要し、「社会一般の情勢を考慮する」はずの私たちの賃金も、原研労組の反対を押し切って、国と全く同じ率で昨年7月から一方向的に削減されています。昨年12月に実施した春闘アンケートには、組合員のみなさんからの悲痛な訴えが寄せられています。『昨年の今頃と比べて暮らし向きはどうか』の問いに対して、「苦しくなった」と「非常に苦しくなった」を合わせて72%にも達しており、この割合は昨年のアンケートより大幅に増加しています。意見としても「生活を維持することすら大変」「働くモチベーションが下がる一方」「国の賃下げに対して機構が対抗できない現状では、労組にがんばってもらうしかない」など多くの声が寄せられています。自民党中心の政権に代わってもこの状況は加速する一方です。1月15日に開催された国と地方の協議の場では、国が地方公務員給与を国家公務員並みに削減するよう地方に要請しました。全国知事会長らは「給与水準は自治体が自主的に決めるべきだ」として、国の要請には応じられないと応酬しています。自治体として独立性を維持し、雇用主としての責任を果たそうとしている姿勢は、原子力機構の経営陣と対照的です。国から独立行政法人に対しては、独身寮を含む宿舍の大幅削減もすでに具体的に押し付けられており、退職金の削減についても強要される恐れが高いと思われます。こうした状況をなんとしても食い止め、処遇の回復と働く環境の維持発展を図ることが労働組合として第1の課題と考えます。

原子力をめぐる状況は政権が交代して政治的には変化がありそうですが、国民の厳しい見かたは変わっていません。原子力機構として、福島復興と事故を起こした原発の処理に力を注ぐことは当然やらなければならないことです。同時に、私たちが原子力そのものについて、どのように考えるのか、取り組むのか、貢献をしていくのかについて、もっと正面から真剣に考えるべきではないでしょうか。このことにも、原研労組として取り組んでいきます。

厳しい状況にくじけているだけでは、ますます悪い方向に引っ張られていってしまいます。荒波を食い止め、少しでも前進できるよう、力を合わせていきましょう。

昨年末に実施した、2013年度春闘アンケートの結果について、数回に分けて報告します。

\*\*\*\* 回答して頂いた方々の基礎分布 \*\*\*\*

#### 問1. あなたの年齢は

- ①19歳以下 ②20～24歳 ③25～29歳 ④30～34歳 ⑤35～39歳  
⑥40～44歳 ⑦45～49歳 ⑧50～54歳 ⑨55～59歳 ⑩60歳以上

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	合計
0	7	8	10	15	11	13	14	18	8	0	104

#### 問2. あなたの職種は

- ①研究系 ②技術系 ③事務系

①	②	③	無回答	合計
18	83	2	1	104

\*\*\*\* 暮らし向きなど \*\*\*\*

#### 問3. あなたの家計の賄われ方は

- ①自分の毎月の賃金で ②自分の毎月の賃金と貯金の引き出しで  
③自分の毎月の賃金と配偶者の収入等を含めて ④自分の毎月の賃金と借入金や仕送りで

①	②	③	④	無回答	合計
68	11	24	0	1	104

#### 問4. あなたの生活実態は、次のうちどれに該当しますか。

- ①かなり余裕がある ②少し余裕がある ③何とかやっていると  
④やりくりが大変 ⑤非常に苦しい ⑥わからない

①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	合計
3	20	43	29	8	1	0	104

#### 問5. 昨年の今頃と比べて暮らし向きはどうか。

- ①楽になった ②変わらない ③苦しくなった ④非常に苦しくなった ⑤わからない

①	②	③	④	⑤	無回答	合計
0	28	52	23	1	0	104

注) 昨年度のアンケート結果に比べ、分布が苦しくなったほうにシフトしています。大幅な給与削減の影響でしょう。

問6. あなたは、直近の1ヶ月で実際にどのぐらい残業をしましたか。

- ①残業なし ②10時間未満 ③10～20時間未満 ④20～30時間未満  
 ⑤30～40時間未満 ⑥40～50時間未満 ⑦50～60時間未満 ⑧60～80時間未満  
 ⑨80～100時間未満 ⑩100時間以上

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	無回答	合計
10	19	16	17	12	4	4	13	7	2	0	104

問7. 職場における労働条件の改善で、もっとも実現したいものを「2つ」選んでください。

- ①賃金・一時金の大幅引上げ ②企業内最低賃金協約の締結・引上げ  
 ③長時間労働根絶、賃下げなしの時間短縮、年休取得促進、休日・休暇増加  
 ④仕事と生活の両立支援（育児介護休業・短時間勤務制度・事業所内保育制度等）  
 ⑤非正規雇用の待遇改善と正規化、正規の採用増加 ⑥性や雇用形態による差別根絶、均等待遇実現  
 ⑦労働安全衛生・メンタルヘルス対策強化、セクハラ・パワハラ根絶  
 ⑧定年延長もしくは定年制の廃止による希望者全員の雇用延長

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	合計
74	9	41	10	26	2	16	24	6	208

問8. 来年度の賃上げ要求額(月額)をどのくらいにすべきだと思いますか。

0円	1万円未満	1万円	2万円	3万円	4万円	5万円	6～9万円	10万円	その他・無回答	平均額
4	8	18	20	13	8	18	0	5	10	29309円

注) 要求の平均額は、約3万円でした。

給与削減の特別処置について取り込んだ上での要求額かどうか、問ではっきりさせなかったのは執行部のミスでした。

<その他の意見>

10%減を無くす

特例措置以前の額

これ以上下がらないよう訴えてほしい

例年通り

各個人の特例措置程度!!

定昇維持

臨時特例で減らされた分

\*\*\*\* 重点課題としたいことなど \*\*\*\*

問9. あなたは、2013年春闘において、どれを重点要求として取り組むべきだと思いますか。次の中から3つ選択して下さい。

- ①賃上げ・賃金差別撤廃の取り組み ②人事制度・勤務評価制度  
 ③育児・介護・リフレッシュ・ボランティア休暇 ④定年延長・継続雇用制度  
 ⑤科学技術（業務）問題 ⑥労働時間の短縮等  
 ⑦配置転換・転勤・単身赴任 ⑧人員確保・労働強化反対  
 ⑨男女機会均等・母性保障の確立 ⑩福利厚生関係の改善  
 ⑪健康保険・年金（基金を含む）の問題 ⑫消費税等の税金問題  
 ⑬反戦・平和のたたかい ⑭労働法制改悪反対  
 ⑮天下り人事反対 ⑯独立行政法人の統合・廃止等  
 ⑰その他（ ）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	無回答	合計
70	36	6	18	15	15	4	49	2	26	18	10	3	6	8	19	1	6	312

問10. 政府に対する制度要求で、あなたが実現したいものを5つ選択して下さい。

- ①景気対策、中小企業振興、投機マネー規制  
 ②震災復興、被災者の生活再建、原発事故損害賠償の徹底  
 ③派遣法・有期労働契約規制・パート法の抜本改正、失業対策、雇用創出  
 ④労働時間規制の強化、労働安全衛生・メンタル対策強化  
 ⑤最賃大幅引き上げ・全国一律制確立、公契約法・条例制定  
 ⑥性・年齢・雇用形態による差別根絶、均等待遇実現に向けた法整備  
 ⑦医療、介護・福祉、保育の制度改善、生活保護の改悪阻止  
 ⑧年金改善と最低保障年金制度の確立  
 ⑨消費税増税阻止、大企業や金融ファンド、富裕層への課税強化  
 ⑩安価な公共住宅や家賃補助制度の創設・普及  
 ⑪公的教育の充実、教育費無償化の拡大、教育制度改悪阻止  
 ⑫防災対策・生活関連公共事業の充実  
 ⑬公務員賃下げ・公共サービス切捨て反対、国の出先機関廃止等、国の責任の自治体への押しつけ反対  
 ⑭TPP貿易自由化反対、復興特区等の規制緩和阻止  
 ⑮食の安全、食料自給率向上、農林漁業振興  
 ⑯原発事故収束、原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換、環境対策強化  
 ⑰衆院比例定数削減阻止、憲法改悪反対、思想・表現の自由など民主主義原則の尊重  
 ⑱米軍基地の国外移設、オスプレー配備阻止、自衛隊の海外派兵反対、核兵器廃絶

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	無回答	合計
62	65	31	27	30	5	34	44	40	11	13	11	43	16	11	30	13	9	25	520

\*\* 残りは次号以降に報告します。